

就職内定特集 1

生活未来科 食物栄養コース

たむら
田村 みさき さん

京都翔英高等学校 卒業

株式会社 魚国総本社 内定

大学での実習は、毎日が真剣勝負でした。自分たちの手で給食の計画から提供まで取り組んだ経験をバネに、春からの仕事を頑張ります！



給食委託会社の栄養士に！

今号からは就職内定特集として、各コースの学生たちの就職活動の様子や春からの新生活に向けた意気込みをご紹介します。トップバッターは、食物栄養コースの田村さんです。

Q：まずは内定おめでとうございます。春からの仕事について教えてください。

「ありがとうございます。私は、給食の委託会社から内定をいただきました。春からは、学校、病院、介護施設や一般企業での給食事業に栄養士として携わっていきます。実際の調理をはじめ、ゆくゆくは栄養価計算や献立作成にもかかわっていきます。」

Q：就職活動にはどのように取り組まれたのですか？

「私の場合、比較的動き始めが早

かったように思います。『本当に就職できるのだろうか』という漠然とした不安もあって、2回生になった春からキャリア支援センターやコースの先生に就職の相談をしつつ、求人票をチェックし始めました。そこで、資格を活かして地元で働ける条件の求人情報に出会い、ドキドキしながら応募書類を送付しました。6月の筆記試験と面接を経て、内定をいただいたのが夏休み前のことでした。」

Q：試験や面接、いかがでしたか？

「実は、試験当日に腕時計をするのを忘れてしまって、試験会場の壁にかかっている時計も座席の角度で見えず...、というハプニングがありましたが（苦笑）、専門分野の試験はある程度の手応えがありました。その後の面接も緊張して臨みましたが、

自分が予想していたより会場の雰囲気も柔らかく、自分なりに応答できたのでありがたかったです。結果が来るまで不安な日々を送っていましたが、内定通知をいただいて「おお...!!」と嬉しくなりました。

Q：最後に春からの新生活に向けての意気込みをお聞かせ下さい。

「大学での実習期間は限られたものですが、仕事は毎日続くことを考えると体力が続くか...。実はちょっとした不安があります。しかし、大学での給食管理実習では、チームワークを大切に自分たちの手で給食提供の実践を経験してきました。そこで培った実践力をバネに、春からは栄養士として頑張っていきたいです。また、一生懸命仕事をして、いただいたお給料で祖父母を旅行に連れて行ってあげるのが楽しみです。」

就職内定特集 2

地域こども学科 こども保育コース

こ ばやし
小林 さやか さん

奈良県立磯城野高等学校 卒業
奈良カトリック幼稚園 内定

春からのことを考えるとめっちゃ緊張するし、不安もあります。でも、ずっと追いかけてきた夢が叶う喜びと子どもの成長にかかわる責任感を胸に次のステップへ進んでいきたいです。

春からは幼稚園教諭として！

続いての特集インタビューは、幼稚園教諭として内定が決まったこども保育コースの小林さやかさんです。

Q：内定、おめでとうございます。

ずっと追いかけてきた夢が叶った感じがいましたよ。

「そうなんです。自分が園児として幼稚園に通っていた頃からずっと幼稚園の先生になりたかったんです。それからというもの、高校生になっても迷わず保育士としての道を進もうと考えていたので、奈良佐保短期大学への進学も固かったんです。家からも近いし、先輩も進学していたし、あったかいイメージがあったので、ここを選びました。」

Q：入学してからの学修、いかがですか？

「保育や幼児教育の勉強はもちろん興味があって、めっちゃ楽しい！実際に幼稚園で勤務経験のある先生の講義は特におもしろくて、現場のことを想像しながら早く働きたいってウズウズしていました。」

Q：とても充実していることが伝わってきます。では、大変だったことは？

「そんなに大変なことあるかな...。あっ！実習です。初めて幼稚園に見学に行った時は、めっちゃ緊張しました。子どもたちの前で自己紹介した時も、何も思い出せないくらいの緊張でした。その後の設定保育でも思い通りにいなくて、そういう時にかぎって子どもたちの姿を丁寧に見られなくなって...。でも、それでも前に進もうと思わせてくれるのも、子どもたちの存在でした。実習で出会った子どもたちが大好きで、ここまで乗り越えてこられたのも『子どもたちのために』っていう気持ちの後押しがあったからだと思います。」

Q：子どもたちとの出会いが小林さんを成長させてくれたんですね。では、ここで話題を就職活動へ移してみたいと思います。

「ずっと就職は意識していたんです

が、具体的に動き始めたのは7月に入ってからです。まずはキャリア支援センターに足を運んで、求人票を見ながら職員さんに話をして、『どうしよう』って私の不安を聞いていただくことから就職活動が始まりました。その後、ご縁があって8月に内定先の園に見学にうかがったことをきっかけに、状況が動き始めました。園の教育方針や雰囲気、のびのびと遊ぶ子どもたちや穏やかな先生の姿に触れて、『ここで働きたい』って思ったんです。『いよいよやな、頑張ろう！』って気持ちを高めながら応募書類を作成して、郵送しました。9月に内定通知をいただいた時は、やっと夢が叶う喜びで一杯でした。」

Q：最後になりますが、今後の抱負を一言いただきたいです。

「卒業まであと半年、奈良佐保短期大学で目一杯幼稚園のことを学んで、春から子どもたちのために幼稚園教諭として頑張っていきたいです。」

LINE@ × narasaho スタート！
受験生向け注目情報をLINEで発信中！



本誌『プチアセビ』のバックナンバーもご覧いただけます。

